

●令和6年度歴史民俗資料館運営委員会議事録

開催日時：令和6年（2024年）5月22日（水）10：00～

場所：利根町生涯学習センター会議室

参加者：海老澤教育長 古山課長 宮崎 大塚

委員：高野博夫（委員長） 二木祥子（副委員長）

奈良浩伸 高橋勝正 久保田敏弘 長瀬一平

（欠席：古田吉光）

敬称略

司会宮崎	それでは定刻になりましたのでただいまより、令和6年度第1回利根町立歴史民俗資料館運営委員会を開催いたします。本日は、役員選任も兼ねておりますので、委員長が決定するまでの間、進行を務めさせていただきます、資料館の宮崎と申しますよろしく願いいたします。以降着座にて説明させていただきます。本日の資料を確認させていただきます。会議の次第、それから1枚の規則、それからパンフレット、お手元にございますでしょうか。それでは委嘱状交付式を行います。名簿順にお名前を読み上げますので、恐れ入りますが、前の方にお進みいただきます。奈良浩伸様。
海老澤教育長	委嘱状、奈良浩伸様、あなたを利根町立歴史民俗資料館運営委員会規則第3条第1項の規定に基づき利根町立歴史民俗資料館運営委員に委嘱します。委嘱期間令和6年4月1日から令和7年3月31日まで。令和6年4月1日利根町教育委員会
司会宮崎	高橋勝正様
海老澤教育長	委嘱状、高橋勝正様 以下同文でございます
司会宮崎	久保田敏弘様
海老澤教育長	委嘱状、久保田敏弘様 以下同文でございます
司会宮崎	二木祥子様
海老澤教育長	委嘱状、二木祥子様 以下同文でございます
司会宮崎	高野博夫様
海老澤教育長	委嘱状、高野博夫様 以下同文でございます
司会宮崎	ありがとうございました。続きまして、教育長よりご挨拶申し上げます。海老澤教育長お願いいたします。

海老澤教育長	<p>こんにちは。お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。これまでこの会はですね、社会教育の4委員会合同の協議会、委員会を行ってまいりました。今回、利根町歴史民俗資料館運営委員会単独での、この背景にはですね、昨年度、利根町みんなの町基本条例である条例の施行がございました。町の憲法とも言われる利根町基本条例の趣旨は、住民参加のまちづくりを第一、にうたっております。この歴史民俗資料館をどのように運営し、また発展させていくのかということ、この委員会で話し合っていていただき、望ましい方向性を探っていきたいと考えております。歴史或いは文化、私たちの生き方や生活を豊かにしてくれております。利根町規模の自治体で、こうした歴史民俗資料館なるものを設置しているところも少ないかなと考えております。それだけ、利根町は貴重な歴史遺産が残されていると言えるのではないのでしょうか。例えば、民俗学の祖とも言われる柳田國男先生の第2の故郷とよく言われます。ぜひとも委員の皆様にも、歴史文化にそれぞれ精通されている方々ばかりですので、ぜひ知恵をお借りして、町の発展、或いは資料館の発展にお知恵をお借りしたいと思っております。</p> <p>この会議が有意義な会となりますよう、よろしくお願い申し上げます、挨拶に代えさせていただきます。</p>
司会宮崎	<p>教育長ありがとうございました。続きまして委員の皆様には、ここで自己紹介をお願いしたいと思います。奈良様から順にお願いします。</p>
奈良委員	<p>奈良です。だいたい皆様、顔なじみという。一応私の役場で文化財、資料館のほう担当しております、何かお役に立てればと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
高橋委員	<p>高橋と申します。お世話になります。4委員会からの継続ということで、務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
久保田委員	<p>久保田と申しますよろしくお願いいたします。私も大学教育委員会の方、長く仕事させていただきました。その関係でいろいろと尽力できればと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
二木委員	<p>二木祥子と申します。よろしくお願いいたします。私も長年資料館が開館以来ずっと定年まで資料館でいろいろやっておりました。何かお手伝いできれば、できるだけのことをやりたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
高野委員	<p>高野と申します。よろしくお願いいたします。3月まで資料館の会計年度任用職員させていただいておりました。ひとつよろしくお願いいたします。</p>

司会宮崎	<p>続きましてこの4月に、事務局の人事異動がございましたのでご紹介いたします。次第の裏になります。1ページめをご覧ください。前課長の弓削課長に変わりまして、古山課長が生涯学習課課長になりまして、資料館長を兼務しております。また私、宮崎が総務課から資料館に異動となっております。そして引き続きの大塚となります。ここで古山課長より一言ご挨拶をお願いいたします。</p>
古山課長	<p>生涯学習課の古山でございます。よろしくお願いいたします。本日は委員の皆様におかれましては、お忙しい中、ご出席賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日は郷土の歴史に対する町民の知識と理解を得るために設置された歴史民俗資料館の円滑な運営を図るための委員会でございますので、委員の皆様には忌憚のないご意見を賜りますことをお願いしまして、簡単であります、ご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
司会宮崎	<p>ありがとうございました。それでは次第4番目、正副委員長の選出となります。選出方法ですが、委員の皆様にお諮りいたします。</p> <p>会則の規則規定によりまして、委員長、副委員長は委員の互選により定めるとされておりますが、会議の開催回数も少なく、顔を合わせる機会も少ない会議であること、またこの場で協議していただくのも難しいかと思われまますので、差し出がましいようですがあらかじめ事務局案をご用意させていただいております。よろしいでしょうか。（一同「異議なし」）</p> <p>それではご了解いただきましたので発表させていただきます。</p> <p>委員長には高野博夫委員。副委員長には二木祥子委員をお願いいたしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。（一同「異議なし」）ありがとうございます。それでは委員長には高野博夫委員、副委員長には二木祥子委員をお願いいたしたいと思っております。それでは高野委員長におかれましては、委員長席にご移動をお願いいたします。</p> <p>それでは高野委員長よりご挨拶いただきたいと思います。</p>
高野委員長	<p>ただいまご紹介いただきました高野です。よろしくお願いいたします。</p> <p>利根町というのは本当に素晴らしい歴史のある自治体だと思います。どこへ出しても恥ずかしくない歴史があると思います。私、今でいうアルバイトやってるんですけども、川向こうの柏という自治体の職員だったんですけども、どうしても住民の方と、市民の方とですね、提案があつて、高野さん、利根町連れてってという団体の方をお連れするんですね、そうするとね異口同音に言います。こんな近くにね、こんな素晴らしいところがあるとは知らなかった本当に利根町の歴史は素晴らしい。ですから、私も3月までここでちょっと使っていたんですけども、1人でも多くの市民の方、或いは市外の方に町の歴史すばらしさをお伝えできればと考えております。私は押戸というところに住んでおります。ひとつよろしくお願いいたします。</p>

司会宮崎	高野委員長ありがとうございました。本日の会議につきまして出席の委員は5名、古田様、お休みですが長瀬様が今こちらに向かっているそうです。定数過半数に達しておりますので、会議が成立することをまずご報告いたします。それではここからの会議の進行につきましては会則によりまして、高野委員長をお願いいたします。
高野委員長	はい。それでは早速、会議に入りたいと思います。利根町立歴史民俗資料館運営委員会規則第6条によりまして、会議を進めたいと思います。まずは協議事項1、令和5年度の運営状況の報告につきまして、事務局より説明をお願いいたします。
大塚主査	<p>はい。それでは着座にて失礼いたします。資料はお手元の資料のまず2ページ目ですね、お願いいたしたいと思います。</p> <p>令和5年度の歴史民俗資料館来館者数ということで、令和5年度の利用状況なんですが、開館日数が237日で来館者数の合計が613人でした。</p> <p>前年度と比較しますと、開館日数はですね令和4年度が244日なので、一応7日間は減りましたものの、来館者数は36名増という状況でした。</p> <p>いろいろと変動要因はあるんですが、年間の開館日1日当たりの平均来客数は2.59人、約2.6人というような状況でございます。下のグラフを見ていただければ、分かると思うのですが。次のページをお願いします。</p> <p>続きまして、年度別、また月別の利用状況を比較してみました。</p> <p>一応来館数を新型コロナウイルス蔓延前ですね、平成30年度、ちょっと元年度の後半からみてちょっといろいろ制約が入ってきてまして、一応全然影響なかったもので、平成30年度だと思われませんが、それと比較しますと、平成30年度が628人対しまして、令和5年度は613人で、コロナ禍で、ここ数年利用が落ち込んだものの、近年は、一応回復傾向にあるように思われます。また、令和5年の5月の来館者数のところの比較増減で、4年度と比較してある表の茶色の部分ですね。一応55人。</p> <p>5月のところの55人増は、利根小学校の3年生の社会科見学で69名が見学されたことで増えてございます。そして6月の61人の増ですが、こちらの歴史関係の団体、例えば、柏の古文書研究会、古文研さんで20名ぐらい。当町の手紙サークル。この団体は一応スケッチをされていかれたのですが、13名の方が入ったということで、増の要因なっております。</p>

そして、下のグラフをちょっとわかりづらいかもしれませんが、グラフを見てもらえると、傾向なんですが、春先から8月ぐらいまでが来館者数が多くなってございまして、それから後半ですね下期大体10月ぐらいからだんだん寒くなる時期ですね。なんていうか、やはりそういったところは減少傾向にあるというのが、例年の来館者数の傾向というふうにとらえられると思います。

続きまして4ページになります。住居地域別、その比較をちょっとですね年間比較した表なんですけど、令和5年度一番多かったのが利根町ですね、221人となっていますが、これはですねちょっと注意書きにも書いたんですが、最近ウェルネススポーツ大学の新生が、こちらの方へお見えになるということで、一応住所はいろいろ多岐にわたると思いますが、なかなか個人情報もありまして、ウェルネスに所属している方は利根町にカウントさせてもらって、221名という状況でございます。

そして、次に前の年なんですが、令和4年度が多かったのは、茨城県、上記以外を除く地域ということで、利根町、龍ヶ崎を除いた、例えば取手、土浦、牛久、つくば、守谷、古河、水戸などの地域の方がいらっやっております。179名。令和3年度も同じように、一番多かったのが、茨城県の上記利根町、龍ヶ崎を除く地域というところなんです。実際面積で比較しますと当然違いますので、県内全体でやっぱり把握していますので、ちょっと比較材料が違いますが、一応そういったことで、人数ですが令和5年度については利根町が一番多いというような形になっています。

その表の一番下のその他ですが、これ意外とですね、こちらへくる目的が果たして本当の目的かどうかわからないんですけど、福島県の方とか、群馬県の方、栃木県、新潟県、神奈川、遠いところでは愛媛、長崎の方がこちらの方に、仕事の関係でか、プライバシーがあるんであんまり聞けないんですけど、そういった方が何らかの事情で町の方へお越しいただいている状況となっています。大体1人か2人なんですけど。

一応仕事のついでに来たとか、非常に関心があるのでわざわざ来たとか、いろいろですね、その辺は、本来の目的が定かではないところがございます。そういうことで、その他の地域名をご紹介いたしました。

続きまして、5ページになります。令和5年度の全体的な運営状況等の説明でございます。まず1点目がですが、施設維持管理の関係の委託ですけど、業務委託、随契で業務委託しているんですが機械警備、これはセコムさんですね。セキュリティの方ですねやっております。

それから消防設備点検委託です。こちらは、火災報知機とか消火器ですね、ニッタンさんをお願いしています。あと2年に1回なんですけど、関東港業さんをお願いして燻蒸、これは大切な業務なんですけど、燻蒸業務をやっていただいております。2番目としまして職員の配置体制です。昨年までですね生涯学習課長、本庁に在席しておりますが、館長を兼務しておられます。再任用職員、私ですが週4日、非常勤職員としています。

あと、会計年度職員、先ほど委員長の方からもありましたけど、非常勤ということで、週2回来ていただいて業務を行っていただいているというような状況です。続きまして、3点目ですね。

一応常設展示、後で時間の関係もございまして皆さんに時間ある限り見てもらいたいのですが、常設展示の主な内容なんですけど、縄文土器や仏像それから古文書、デジタル絵馬、地固め唄保存会資料などのほか赤松宗旦、杉野東山、小川芋銭、柳田國男のコーナーで作品などを紹介展示しました。

一応一部模様替えを実施してございまして、赤松宗旦関係の資料の原本を一部展示してございます。

それから、杉野東山の作品と利根町のデジタル絵馬を交換展示してございます。それから、水害パネルがちょっと色あせてきちゃいましたので、名称も若干変えまして、堤防決壊の歴史パネルを作成しました。あとでまた見ていただければと思います。

あと、お手元の資料館パンフレット、これも相当前に作ったものですね。思い切って刷新しまして、今の資料として新しくしております。地図なんかもですね、学校統合で全部変わっちゃいましたので、また新たに、来年再来年あたりまた今の旧小学校あたりですね、変わってくると思いますので刷新を予定しておりますけど、とりあえず今の現況でもって、また写真の団体をお願いいたしまして、一応このパンフレットを作成してございます。それとエントランス入口の事務室側に、閲覧コーナーを設置しました。あと、盗難防止用に、とりあえず5つの展示ケースですけど、一応ダイヤルロックを、修繕費で取り付けてございます。あとですね4番目ですね、継続業務になりますけど、これ所蔵してある古文書ですが劣化が懸念されておりますので、今現在ですけどデジタル化に向けたスキャン作業をしているところです。

	<p>一応約3万点が書庫に眠っているということで、それを少しずつスキャン作業を行っています。あと、昔の役場の倉庫にございましたファイリング導入前の町の公文書の選別それから分類作業。これ点数は、今目録を起こしているんですが、約7000点、箱にして大体600、700ぐらいあると思うんですが、一応それを出しまして、再度確認して、よくよくは今後箱の中の必要なものを整理しまして、不要なものは処分ということで整理していくことになります。令和5年度の運営状況の説明は、以上でございます。</p> <p>一応約3万点が書庫に眠っているということで、それを少しずつスキャン作業を行っています。</p> <p>あと、昔の役場の倉庫にございましたファイリング導入前の町の公文書の選別それから分類作業。これ点数は、今目録を起こしているんですが、約7000点、箱にして大体600、700ぐらいあると思うんですが、一応それを出しまして、再度確認して、よくよくは今後箱の中の必要なものを整理しまして、不要なものは処分ということで整理していくことになります。令和5年度の運営状況の説明は、以上でございます。</p>
	(遅着 長瀬委員 委嘱状交付)
高野委員長	はい。ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明、令和5年度の運営状況の報告について何かご質問ご意見等がありましたらお願いいたします。
奈良委員	はい。5ページの(4)継続業務としてデジタル化に向けた古文書スキャン作業ということで、もう一つがファイル分類選別ということなんですが、こちらデジタル化に向けた古文書のスキャン作業、これけっこう大変だと思うのですが、是非とも重要なことなのでやり遂げていただきたいと思うんですが、進捗状況と、完了予定年度、あとは完了した後の公開をどうかをもしするのであれば、どのような形で今回、インターネットで公開していくという方法あると思うんですけど、その辺、どうやって計画してるのか教えていただきたい。
宮崎	はい。古文書の方現在スキャン中で3万点あり、4月から始めておおよそ1000未満だと思いますが。
奈良委員	令和5年度で？
宮崎	6年度です
奈良委員	始めたばかり？パーセントは？
宮崎	まだ倉庫の方にもかなり。(3月まで作業されていた)高野委員長のほうがよくわかっていると思われませんが。
奈良委員	劣化、優先順位でいくとおそらく劣化の度合いかな、燻蒸とかされてるかと思うんですが。
宮崎	はい

奈良委員	やはり劣化がどんどん進んでいるということと、やはり古文書のほうを優先的にやっていただいたほうが、たぶんあちらの倉庫の中に、段ボールすごい、あれ、結局我々時も選別しようかってことになったんですけど、ちょうど僕が担当だった時期だったんですが、結局意見が分かれまして、当時町史編纂委員さん、専門委員さんとかいろいろな行政側と話し合ったんですが、結局その選別といっても、不要なものはないと。結局、どれもこれもが一応公文書というものであって、できる限り残すのが理想的だっていうことで、当時選別はしないでもそのまま段ボールを将来の担当者にお任せしようと言う事になってしまったんですけども。こっちもこっちで大変な作業になるかと。もしあれでしたらそのスキャン作業のほう、来年度以降、多分まだ、時間かけて1000とかということは何十年先？ということになるとちょっと時間どうなのかなというところもあるので。もしあれでしたらパートさんなど人材をちょっと増やすなどの予算措置を要求してみるのも1つの手なのかなというふうに思うんですけどどうでしょうか。
宮崎	予算出してみます。あと公文書のスキャンと同様に、ロッカーの中にですね古いネガフィルムがたくさんありまして、フィルムスキャナーも予算も計上したいなとは思っているんですけども、その辺はですね予算編成までに考えたいと思います。
教育長	公開の見通しっていう話もあったじゃないですか。
大塚主査	そうですね。公開の見通しは。まあとりあえず、今まで会計年度職員で3日とか2日くらいしかこのスキャン作業に、そればかりじゃないですね、お客さんがくれば、お客さんの案内するしかないんで、1日半分くらいですかね、従事できる時間が。ですから、その辺につきましては、要はマンパワーなんですけど、スキャンの機械がやっぱり1台しかありませんから、その辺で朝から晩までスキャンやっているというものでもないんですが、ただこの6年度のところでまたちょっと触れますけど、一応新年度になりまして、今度常勤の職員が久々に張り付いたんで、それで今宮崎さんに、もう結構七、八割をスキャン作業でやってもらっているということでスピードアップを図られていますので、ちょっといつまでっていうことはなかなか言えないんですが。馬力的には強くなったのかなというところで、逆に期待するところがございます。ただ、いつまでっていうのが、ちょっと今のところは、まだ見えてないのが現状です。

	<p>また、役場の古文書につきましても、実際私も今七、八割が箱のふた開けて目録を作り、修正しながらやっているのですが、やっぱり歴史的価値があるもの、ないものっていうので、やっぱり処分がされるべきものもあると思います。やっぱり税法上で、何年まで、それ以降は公文書ではあるんですが、もう今のファイリングシステム上、もういらぬというような扱いでもいいのかなあとか、そんなふうなところもありますんで、私個人的には、もうほんと10%ぐらいしか残ないんじゃないかな。ただ、昔の地図みたいなものとか、これはぜひ取っとくべきじゃないか、当然担当課には。</p> <p>一応そういうことで、とりあえず今、まずは手順としまして全部洗い出しを行いまして、目録を完成させてとりあえず担当課の方にいる、いらぬを判断してもらおうかなと。それで、それを1回また持ち帰って担当課はこういう意見だったんだけど、その前にですね、歴史的に価値がある価値がないと判定してもらえばアドバイザー的な存在の人も必要になるかと思うんですが、その方々に判定してもらって、とりあえず取っておくものと、いらぬものというのを分けざるを得ないのかなというふうになんか思っているところです。</p>
奈良委員	<p>デジタル化に向けた予算化のほうちょっと要求してみるということで、それでスピードアップがはかれればいいかなと、このままだと何十年後で、完了できないということで、財政課のほうではちょっと、要求してもらえればなというのをひとつと、あと先ほどの行政文書、こちらについては実は、今、ファイリング導入前に結局各課がいらぬって言って、段ボールに詰めたものを、こちらで公文書捨てちゃだめですよってことで、急遽引き取った文書なんです。町史編纂専門委員さんの意見は保存年限が切れてる、あるいは歴史的価値がある、そういったことではなくその時代背景が***ているものだから、</p> <p>すべて公文書というのは重要なんだと言うことで、極力全部残したいっていうのは町史編纂専門委員さんの当時の意見だったんですね。僕も当時は首をかしげてた所があるんですけど、やはり文化財とか担当していると実はその世の中によく知られている資料よりも、けっこう実は貴重な資料で、当時どうでもいいような資料がけっこう庶民の暮らしとかそういうのがわかってけっこう貴重だったりすることがあるというのがあるので、まあ行政側で判断するというよりは、やはり選別に関しては当然その担当課で見てもらえれば、すでに保存年限切れているからいらぬものだよと、廃棄したものだからいらぬよ、処分してくれという話になってしまうので、そこのところは第三者を入れて、選別についても考えたほうがいいかなと。まあ全部が全部残す、そこの倉庫にいっぱいいっぱいになってしまっているんで、そういった事情もあるが、何かしら基準を設けて取り組んだほうがいいかもしれないかなという、当時も一応そういった話があったということで、はい。</p>

高野委員長	<p>デジタル化についてですね、こちらの3月まで実は担当しておりまして、あんまり進められなかったので申し訳ないなと思っております。資料、私もずっと整備するって仕事やってたんですけどもね在職中ですね、利根町の場合ですね、國學院大學の大谷先生って方が利根川周辺の整理されてたんだと思うんですね、その頃をですね整理されたので学生さんを通してやったんだと思うんですけど、今の感覚からいうとちょっとやっぱり整理の仕方が不備だなと。かなり煩雑なんですね今ね。</p> <p>ですから、スキャンする前にですね、そのごちゃごちゃになってるやつを整理し直し、順番としては多分そっちの方が先だろうと私は思います。</p> <p>実は赤松宗担の資料ですね。これは利根町とすれば第一級の資料だと思えます。これがですね、かなり混乱した状態ですね。一時ですね、正直なところと言いますと、茨城県の歴史館の方についてましてね、茨城県の歴史館で整理したんですけども、極めてずさんな整理なんですね。袋に、歴史館の袋にただ年代とタイトルがあるだけです。これで整理といえるのかという状態でした。生涯学習課の担当の方にお願ひしましてですね、袋をとりあえず作っていただきまして、タイトル、年代、内容、表題、それから手紙であれば誰から誰に出したもの、これ全部書いてですね、中を開けないでもその資料がわかるように、この作業をやってたんですね。ですから、デジタル化遅れてしまったのは非常に申し訳なかったと思っておりますけども、順位的にですねやることがあったんだということをご理解いただきたいと思えます。それから行政文書についてはですね、これはもう年々膨大なものが入ってきますんで、公文書管理法をご承知の通りできましたので、全部管理するってことは不可能です。</p> <p>実際の話として。ですから、先ほど奈良委員のおっしゃられた通り、理屈から言えば、第三者委員会を作って、そこで整理していただいて、これは捨てるよ、これは保存するよっていう線引きをしていただかないとですね、職員さんにそれでやらせるってのは、酷なんですね。これはちょっと無理だと思いますので、理屈から言えば第三者委員会で、専門の先生方に線引きしていただいて、捨てるべきものは捨てる、現物残すべきものは残す、これをやらないと。大塚さんの方でパンクしちゃうと思えます。場所だってパンクしちゃう。多分そういうことになるだろうと思えます。すいませんちょっと余計なこと言いました。よろしいでしょうか。</p>
奈良委員	はい。
高野委員長	<p>それでですね今のお話で、子供たちが非常に増えたので、来館者が増えたってことはとてもいいことだと思います。将来を見据えてですね子供たちに、町の歴史、郷土について学んでいただくというのはこれは大変意義があることだろうと思えます。引き続きよろしくお願ひいたします。それではですね、次に協議内容2、令和6年度の事業方針及び予算の概要等について、事務局より説明をお願ひいたします。</p>

大塚主査

はい。それではページの方は6ページになります。

最初に令和6年度の町の事業方針等について、ご説明いたします。一つ目が資料館の設置目的、条例で書かれている基本的なことです。ちょっと読んでみます。町の民俗文化財、及び遺物文書等の歴史的資料の保存展示とともにその活用を図り、郷土の歴史と文化に対する町民の知識と理解を深め、もって文化の振興を図ると条例に記載されています。こちらは、昭和57年11月開館ということで、かれこれ41年目ということになります。資料館の主な業務事務ですが、そこに列記してありますけど、入館者に対する指導・助言・奉仕、資料の収集・保管・展示・利用、資料の保管及び展示等の技術的な研究に関すること。資料館の使用許可及び資料の寄託・貸出・閲覧などの申請許可に関すること、それから施設の維持管理、本日行っています資料館運営委員会に関すること、

それから諸々ですね予算とかもありますけど、資料館の庶務に関することなどが主な事務内容となっています。6年度ですけど、3番目ですね。展示室の様様替えなど、一応取り組みを今考えているところですが、すでに実施しているものもございます。1点目の展示室内の利根川築堤作業コーナーで、小学4年生が唄っている地固め唄の歌唱音声を今流してございます。4月21日からCDプレーヤーを使いましてお客さんが来た時だけですけど、一応音楽を流しております。それで、ちょっと雰囲気が変わるということもございます。2点目ですが、これ終わってからもちょっとですねご説明というか、また着手これから準備していくので、その入口的なものをあとで資料館に行ったときにご説明したいと思いますが、展示室内をYouTubeの解説動画を見ながら、見学できるようにしたいと考えております。

それと、借用してくるしかないんですが、小川芋銭の作品パネル、今実際小川芋銭の作品が展示されていませんで、それを借用しましてパネルを展示したいと考えております。あと、柳田國男の兄弟の写真パネルを作成して展示したいと思います。現在、兄弟の写真があるんですけど、ちょっと文字がはがれてきてしまっていて老朽化していますので、新しく写真パネルを作成したいと考えております。あと4番目です。引き続き、先ほどご質問ができましたファイリング導入前の町公文書の選別とか、スキャン作業をやっていきたいと考えております。続きまして、7ページ目ですね、お願いいたします。6年度予算の概要等についてですが、予算につきましては、町の一般会計の教育費、社会教育費、資料館費の事業名で言いますと資料館管理事業で、今年度は248万5,000円を計上してございます。対前年では120万7,000円の減額となっております。その内容ですが、人件費以外の維持管理費のうち主なものですが、光熱水費、機械警備の委託費用、消防設備保守点検が主な内容となっております。

	<p>対前年120万7,000円の減は、本年度は2年に1回の燻蒸作業を行わないことによることがその大きな要因で、隔年実施ということで、今年はその年から外れるということでございます。その下の節について、簡単にいきいたいと思いますが、まず報酬です。こちらにつきましては、先ほど教育長からもお話がありましたように、4委員会からそれぞれの委員会、施設で運営委員会を行うということで、一番上ですね今年度新規に計上しておりますけど、運営委員会委員報酬で10万1,000円を計上しています。</p> <p>それから、会計年度任用職員の報酬、続いて、共済費、旅費についても会計年度職員の経費を組ませていただいております。</p> <p>そして需用費です。こちら消耗品、光熱水費、修繕費、印刷製本費、合計で78万1,000円を計上しております。役務費の通信運搬費、電話料とかタブレット使用料ですね、8万5,000円を計上しております。委託料ですね、何回もいうようですが、機械警備とか消防設備保守点検について計上しております。燻蒸業務については、減の要因ですけど本年度は行わないので予算計上されておられません。あと、負補交ですね、茨城県博物館協会の負担金として8,000円、それから茨城県市町村歴史民俗資料館連絡協議会、こちらは県内で14団体あります。こちらも含めて全部で14団体ですね。その負担金です。今は、事務局は、真壁伝承館・歴史資料館というところで事務局を行っている。これも輪番制ということなので、いずれまた事務局が回ってくる可能性がございます。</p> <p>そういうことで、合計で今年度は248万5,000円が計上されているということです。またちょっと戻りますが、報酬のところでは委員長さんとか副委員長さん、委員さんですね、一応報酬金額税込ですけどいっておきます。委員長が4,800円で、副委員長が4500円、委員さんが4200円、税込ですけどこれが一応委員会の出席に応じまして、支払う金額ということになります。以上でございます。</p>
高野委員長	はい。ありがとうございます。ただいまの説明につきましてご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。
高橋委員	<p>(少々聞き取れず)</p> <p>*** 6ページの資料で、***こちら素晴らしいかなと思ひまして***でと聞いてたんですけど、資料館というのは博物館法に準じて運営されていると思うんですが、いわゆる収集、保管、展示、利用ですね、まあこちらがメインになって、やはり常設展プラス企画展ということで、企画展通じて常設展という見れないものを公開するっていうのが資料館の大きな役割の一つかなというところで、ただちょっと生涯学習課の文化財担当のほうで企画展を考えてたりするんですけども。企画展っていうものが、文化財担当でやるべきなのか、</p>

	<p>資料館でやるべきかっていう感じになると、どうなのかなみたいなそこで連携してやるべきなのか、どちらかがメインになってやるべきなのか、多分今なんか文化財担当の方がメインでやっているような感じだと思うんですが、ちょっと僕の時の話だと資料館担当だったので企画展をやるみたいな、こういうイメージだったんで、そこがどうなのかなというのが一と、あと小川芋銭、ちょっと雑談なんですけど小川芋銭作品までの展示と、昔、小川芋銭展やった時に作品のパネルがたぶん残っているんじゃないかなというのが一つと、あともし利用するのであれば小林一茶展なんかもけっこう複写、布川がのっかっているようなページも複写してあるんでもし見つければ、そういったものも利用してもらえればなど。ちょっと、その企画展、これについてちょっとどんな形で今後進めていくのかということでお伺いしたい。</p>
宮崎	<p>一応先ほど言われたスキャン作業を優先すべきかなと資料館としては思っているので、企画展に関しては、去年のデジタル絵馬と同様、生涯学習課の方にお任せしたいなあとは思うんですが。</p>
古山課長	<p>企画展の方は多分奈良委員さんの時なんか文化財の担当と資料館の担当で多分一緒な時だと思うんですね。今ちょっと資料館ご存じのように資料館の担当と文化財の担当と分かれておまして、現在文化財担当の方は藤後係長がやっておりますので、来年杉野東山も予定してまして、ただ会場については生涯学習センター、あと資料館などを使いながらというのは、奈良委員さんも一緒に入ってるのはご存知だと思いますが、その辺が進めるところでございますので、杉野東山については来年考えておりますので、その辺は文化財担当の藤後の方で資料館の方も、宮崎さんや大塚さんの方とも連携取りながらとは思っておりますので、その辺のところでも今、考えているところがございます。</p>
奈良委員	<p>ありがとうございます。すごいわかるんですけど。従来ですよ、別にそうしたほうがいいというわけではないんですが、従来はパンフレットなんか作って、歴史民俗資料館の企画展ということで、ずっとやってたんですけど、展示するものが、この間は利根町役場、そういったところだったんですけど、結構企画展の意義っていうのが、その歴史民俗資料館って結構町内</p>

	<p>の人でも知らない人多くて、そういった人たちに知ってもらおうっていうところも、ちょっと意味合いもあったので、そのやっぱり歴史民俗資料館っていうものを、ちょっとやっぱり企画展やるにおいては、今、杉野東山の資料展示してる、それについてのその細かい、もうちょっと広げたものを利根町の町民に知ってもらおうということで企画展を検討してると思うんですけど、やはりそこで利根町という、利根町教育委員会っていうのも、ありかと思うんですけど、歴史民俗資料館に展示してますよとか、歴史民俗資料館の企画展ですよと、というような形でアピールした方が、資料館の認知度っていうのは上がるのかなというところで、もし検討してもらえればなと、 , , , ありがとうございます。</p>
教育長	<p>あとは場所の関係だよな。この間の絵馬展は、役場の多目的ホールを利用して、たくさんの方が出入りする、そういうところがいいだろうということでやって、あと生涯学習課なのか、資料館の方の職員なのか、人の配置にもよるよね。あの充実、民俗資料館の人の配置を充実させれば、そこで予算と人が方向性が合致すれば、企画展も可能かなと思うんだけど、今の現状見たときに、やっぱり生涯学習課が、企画展を進めるというのが現実性があるのかなという所です。</p>
奈良委員	<p>もしあれだったら資料館、こういったパンフレット、まあ配るといような形で、どうせ企画展やるなら資料館のアピールも同時にしたほうがいいのかなと。</p>
教育長	<p>でもこれ、すごくコンパクトでね、いいと思うんだけど。もう一つ大きいのが、同じ形でいいから、中身を。そうしたらまた金がかかる。</p>
大塚主査	<p>とりあえず今回2000部作らせてもらいまして、役場とか柳田とか文化センターとか、ちょっと点々とおかしていただいているような感じで、PRはしております。</p>
高野委員長	<p>PRと言うことは非常に重要だと思うんですね。発信していくってことはとても大事だと思います。今ですと、インターネットを使って、やっていけばですねそんなにお金もかからず、そんなに人手もかからず、やっぱり企画展1回やるって結構大変なんですよね実はね、大変なので、ネットをもっとこう使っていったら資料館とかその町の歴史のアピールにはいいのかなと思いますね。お考えいただきたいと思います。</p> <p>あと他のですね、高橋委員さん、いかがでしょう？</p>
高橋委員	<p>はい。</p>
高野委員長	<p>その他何でも結構なんですけど。</p>

高橋委員	組織のことなんですけれども、いろいろとあろうかと思うんですけどね。将来的にはこういう一つの町、そんなに大きくない町ですから、一つのところで、やればなというふうに感じてるところですね。はい、なかなか難しいでしょうけどね。今までやってきたところ、私も岩手(?)のお手伝いしまして、生涯学習課の方とね、いろいろやってたんですけども、できれば一つのセクションで、それを同じものを大体同じようなものですから。できたらどうかになってというのは感じましたね。はい。
高野委員長	何かないですか。意見はあった**別に。
久保田委員	あれはないんですが、今実際に学芸員さんが、藤後お1人でいろいろね歴史民俗資料館のこととか、文化財のこととか何かやってるんで、まずそれはしょうがないのかなとは思うんですよね。だから生涯学習課中心でやっていくしかないですよ。人数的な問題だと思うんで。
高橋委員	今はね、今の組織からいくとそうなっちゃうけど、町として、将来的には、そんなに大きくない町なんで、一つのところでやるべきかなと私はそう思います。はい。
高野委員長	二木委員さんは。だいじょぶですか。長瀬さんは？
長瀬委員	伺いたいと思います。昔の写真がたくさんあるって話だったんですけど、写真ですか？
大塚主査	ネガです。
長瀬委員	これって量はまずどれくらいあるんですか？それから種類ですね。ネガであるのかポジであるのか、それから35ミリであるのか、ロクロクであるのか、それ以上の銅板(?)であるのかとかそういう種類。そのへんわかる範囲でけっこうです。
宮崎	全体像はちょっとまだ把握してないんです。
長瀬委員	大量にあると？いやなんでそういうことを言うかという、私は自分が撮りためた写真を、今あのおう、僕は35ミリのロクロクなんですけど、フィルムスキャンしてるところで、別にそんな大変な話じゃなくて、キャノンのF9000っていうスキャナーだと35ミリ、6×2だから12枚、一斉にスキャンできるんですよ。で一番細かくすると、全紙に伸ばしても耐えられるくらいの細かさにはなる、その代わりスキャンすると時間かかるんですけど、まだそんなやって私は自分の撮った、撮りためた写真をやってて、もうA3ぐらいだったら何の問題もないくらい拡大できる、私はずっと歴史枠(?)使って、見せどころ(?)にと撮りためた拓本であるとかそういうのをフィルムスキャンしてそれで拡大してこう見るとか。もう***いわゆるなんですかね中世の文書とか、あのへんは弱いんですけど、近世とかは、まあまあそんなやってやってるので、さっきお話聞きながらお手伝いできたらやってもいいのかなと思ったりもした。暇な時に。これだけやってくれよ、と言われるんですけど。みたいなこととか。を感じました。

あとは残すの、残さないのという資料お話なんですけど。結局目のつけどころで、国家的規模で見ればいらぬというものは当然あるわけですよ。資料、それが県の規模になると、だんだん小さくなって小さくなっていくほどくそみたいなもんでも必要になるっていうことは私はあると思います。なんでそんなことを言うかって言うと、私の祖父が残した、例えば履歴書であるとか、仕事についたっていうの、なんですかね、まあまあこういうものであるとあって大きな意味で見れば、別についてということなんでしょうけど、個人レベルで見れば非常に重要なものになっていくわけなんですよ。そんなことを思ったし、

あとはみなさんもお存じだと思いますけど、だいめいおもうよう(?)ってものがあって全集(?) 12巻、それから続集、続々集、じんかい(?)っていうふうにする正倉院の中に残ってる文書、ちゃんとしたものから、資料にして最終的にはくそみたいな、「じんかい」ってくそって意味ですから、そういうくその中に出てくる文字、そこから復元されて本になって出てくるわけですよ。木簡なんかもあるはくそですよ。でもあのくそが、くそから古代の歴史の重要な部分がわかってくるっていうことがあるんで、いつ重要になるかわからない。だから、町史作った時の先生方は残すべきだということをした。私も同じように、もう大変成果があがったりしてたから、そういう時代に影響を受けてるんで、やっぱり資料は、残すべきだと思います。だから全部デジタルにしちゃえばいい。

そしたら入るわけですからね、

こんなものに。こんなものに入っちゃう。紙である必要、ほんとは僕は紙であるべきだと思ってるんです。個人的には。やっぱり紙をこう見ると、例えば国立国会図書館でフィルムの写真、新聞を見てくよりは気づきが全然違いますから。紙であるとは思いますがそれは現実問題

無理なんだよって言えば、これは今の世の中ですから、デジタル化してそうしたら資料が無くならないようなことをしなきゃいけない。CD\*\*、消えちゃいますからね。へたすると、DVDも見られなく\*\*するし、

なんていうことも思いながら、すいません、あの、さっきの議論の流れとか、ちょっと違うのかもしれないんですけども、あの一応、意見として申し上げさせていただきました。あとは、そうですねえ、さっきのほんとは特別展は私も、私は、資料館でやるべきだと思います。普通は。でもまあ、いろんな問題もあるんで、難しいんだよねっていうのは、よく話を聞いてわかりましたので、まあこっこの\*に協力できればいいという感じですかね。

高野委員長

はい、ありがとうございました。  
他にですね、何かありますでしょうか。

海老澤教育長

一ついいですか。子供たちが見学にきた。これ徒歩できたんですかね。

大塚主査

ええとですね。

海老澤教育長	小学3年生60何人
大塚主査	そうです。
海老澤教育長	徒歩で？
大塚主査	利根小学校です。
海老澤教育長	だから徒歩で？
大塚主査	去年は確か徒歩で、今回はバスでしたね。
海老澤教育長	バスで。
大塚主査	6年度は報告してないんですけど、6年度はもうすでに5月、今月ですね5月の8日ですね、74名の利根小学生が来ていらっしゃる。
海老澤教育長	社会科でね。
大塚主査	そうです。
海老澤教育長	社会科っていう教科が3年生から始まるんですよね。 今は一年生2年生の生活科っていう社会科がなくなっちゃった。 昔の暮らしっていう中に、昔のその生活用具がね、資料館にあるんで。 これは続けていきます。それから、ウェルネススポーツ大学の新生、これはもうマストな、民俗資料会行かねばならないぞっていう大学側の仕掛けがあったのかな。
大塚主査	その辺の裏事情は、これは付き添ってきたところが政策企画課ですか、あそこで引率してきてもらっていますので、バスでその辺の大元は政策企画課と上の人との間のやりとりだと思うんで、ちょっと末端ではわかりません。
海老澤教育長	大学の新生プラス留学生あたりもね、こっちへ抜けてくれると、数だけは上がるのかなっていうところを感じた。
大塚主査	はい。そうだと思うんですが。
海老澤教育長	わかりました。
大塚主査	はい。
海老澤教育長	はい、ありがとうございます。今日、他にはないんですか皆さん。 今日の結果っていうのは、当然まとめられて、上司の方、決裁受けることになるんだろうと思いますけども。会議録っていうのは、もしできますればですね、委員の先生方には、後で郵送していただきたいんですが、よろしくお願いします。
大塚主査	わかりました。
高野委員長	あと1回ぐらいかほかにあるんですか。
大塚主査	今のところは例年ですと、11月か12月ぐらいにですか、4委員会の時の流れを引き継ぎますとそのぐらいに、今度5年度の決算とかで報告したいんで。 ありますけど、特別な場合はまだ予算的にはまだありますので、あと1回ぐらい3回ぐらいは可能かなと思います。
高野委員長	はい。定例会、秋にですね、予定されてるようですので、その時はぜひよろしくお願いします。

大塚主査	ます予算の概要がわかんないですね。その辺も進められないと思いますし、予算は、予算は来年度だからこの時期だから決算ですね、決算だけ、秋ということになりますね。
高野委員長	その他のないでしょうか。ありますかはい。どうぞ。
長瀬委員	すいません今郵送でっていうお話が出たんです郵送で送ってくださいっていう。それってメールで送ってもらうわけにいかないですか？
高野委員長	どのような形でも、, , なんでもいいと思うんですけど。
大塚主査	いまのところ郵送になってしまうんです。
長瀬委員	利根町情報メールもらってるんで
宮崎	メールの方がよろしいって方いらっしゃれば
長瀬委員	いや、いや、郵送。紙でもらうのはいいんですけど捨てるのがね
奈良委員	千葉県とかもメールはやらないとか、FAXにしてくれと。ありますよね。
高野委員長	それではですね、ほかにないようですので、以上をもちまして、第1回の会議を終わらせていただきました長瀬委員：それはおまかせしますんで。いと思います。それで進行を私の方から事務局の方にお返しします。
宮崎	ありがとうございました。お時間もございましたので、本日は長時間にわたり貴重な審議いただきまして、ありがとうございました。以上をもちまして、歴史民俗資料館運営委員会を閉会させていただきます。この後ですが、資料館の見学を予定しております。その前にこのたびの委員委嘱にあたり、個別に確認したいことがありますので、その確認が済んだ方から資料館の見学をしていただきたいと思います。見学は自由見学にしたいと思います。見学がすんだあと流れ解散となりますので、ご協力の方、よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

(終了)